

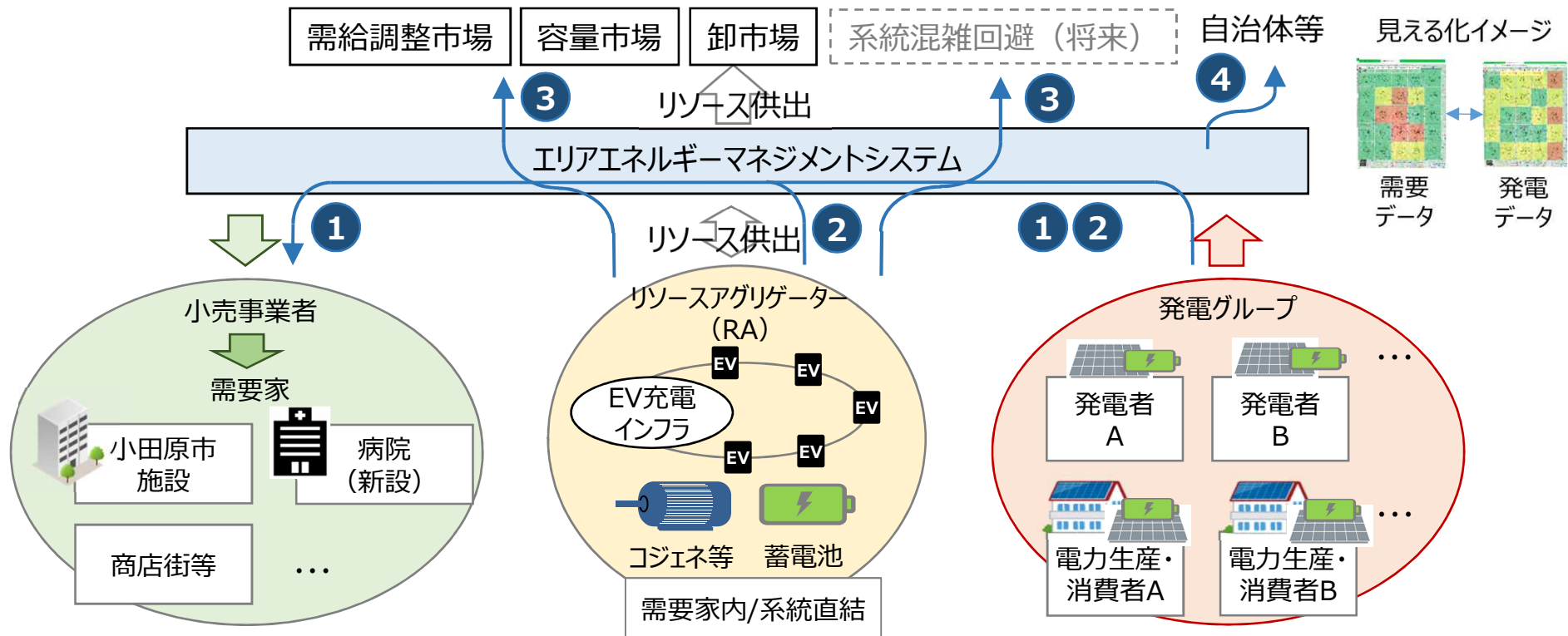
エリアエネルギーマネージメントシステム(AEMS)の 基本設計およびスケジュール

TEPCO

2024年3月19日
東京電力ホールディングス株式会社
エリアエネルギーイノベーション事業室

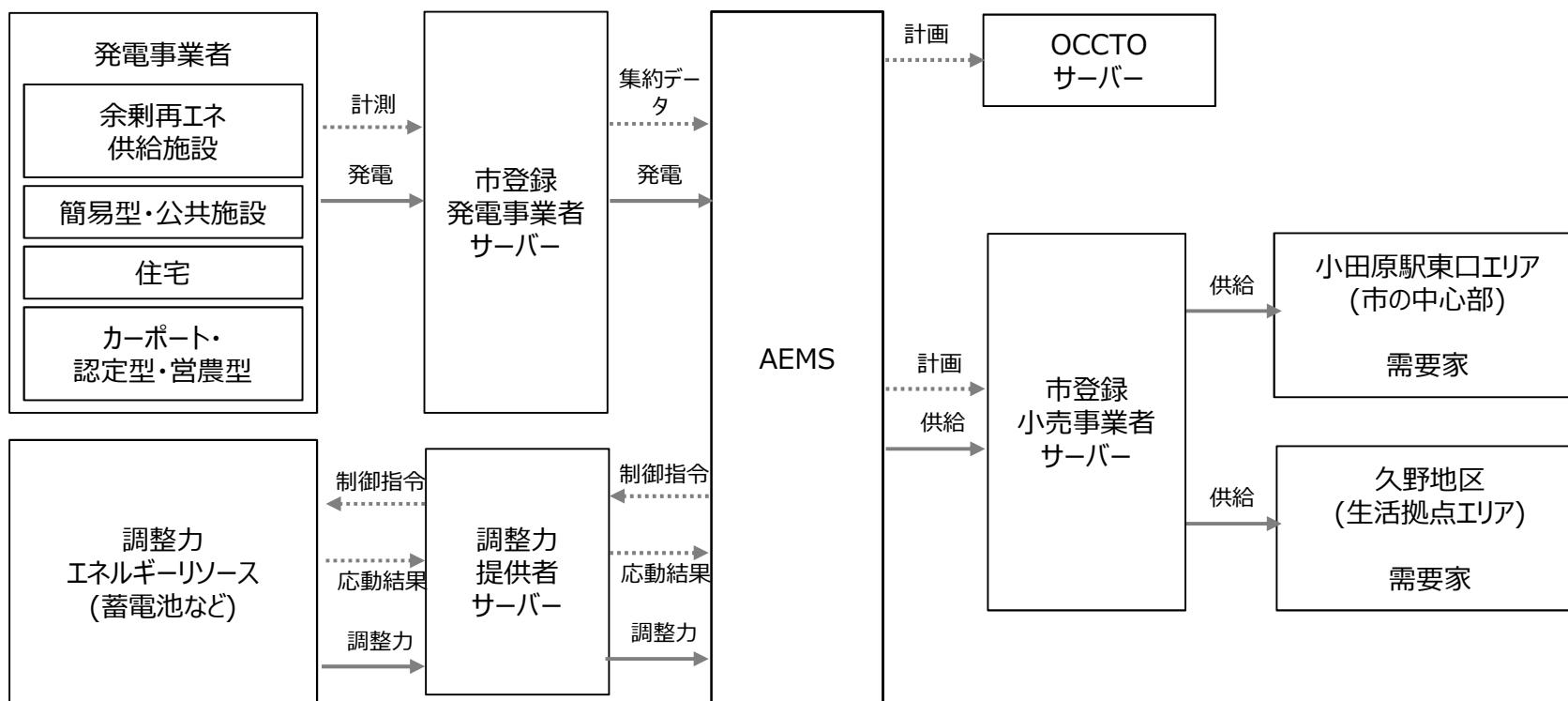
エリアエネルギーマネジメントの全体概要

- 地域のエネルギーマネジメントとして以下を実施。再エネの地産地消を促進するとともにエネルギー融通による電力系統混雑回避を行い、電力系統の再エネ受入可能量を拡大
 - ①地域内の再エネを調達したい需要家（小売事業者）と、地域内の再エネを供給したい発電者をつなぐ取引プラットフォームの構築（複数の発電者および小売事業者間の契約・値決め等を仲介）
 - ②発電者の発電計画と実際の発電量の一致（インバランス回避）を目指し、発電者の計画・運用を支援
 - ③夜間等、太陽光発電が稼働しない時間帯における、RAによるリソースの市場供出（有効活用）を支援
 - ④再エネポテンシャルと再エネ発電量の把握により導入計画と進捗状況が見える化し、市の政策立案を支援



AEMSの基本設計

- 市登録発電事業者(アグリゲーター)が計測・集約したデータをサーバー連携でAEMSが受け取り、処理し、OCCTOや市登録小売事業者とサーバー連携し、発電計画を提出
- 発電計画と実績が異なる際に、調整力提供者へ制御指令を発信し、インバランス回避



AEMS構築スケジュール

- 2023年度にAEMSの基本設計を実施
- 2024年度に、STEP①～③を実施
 - ① 連携する市登録発電事業者システム・市登録小売事業者システム(サーバー連携方法など)を選定し、AEMSの要件定義を実施 [～2024年度5月(予定)]
 - ② 要件定義を踏まえ詳細設計 [～2024年度9月(予定)]
 - ③ AEMS構築 [～2025年度3月(予定)]
- 2025年度運用開始予定

